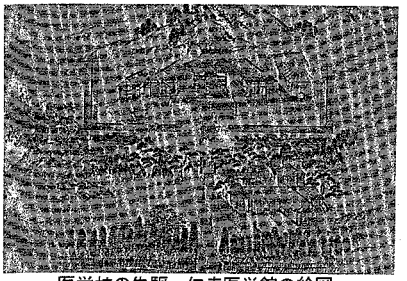
市史編さんの窓 (26)

医学校の先駆・仁寿医学館

このほど、京都市左京区にお住まいの本多芳郎さんが、写真の絵図を市史編さん室へ寄贈されました。絵図には、本多さんの曽祖父と祖父が、明治の初め、朝日村(現新津市朝日)に設立した医学館が描かれています。この医学館は、当時の越後府知事から「仁寿館」と命名されました。本多さんは、「この絵図は新津に縁のものですから、京都に置くより新津市で保管した方がよいでしょう」と寄贈されたものです。



医学校の先駆、仁寿医学館の絵図

本多家からは、江戸時代に朝日村の名主を勤めた方や医師などが出ており、芳郎さんの曽祖父にあたる文明は号を笑鵬、祖父にあたる一郎は号を敬斎といいました。ともに医師であり、「寅学館」という塾を開き、旧金津村の人たちや近郷の多くの人たちを教育されました。「国を活かすことは、人を活かすことにあり」と、裏山に建てられ、講師陣も知事の待医ほか十六名と決まり、講義は漢学、蘭学を折衷したものから成り立っていました。しかし、その頃国は、"西洋医学中心"という太政官布告を発したため、仁寿医学館では教育方針にとまどったようです。そんなときに父の文明が病気になり、運悪く、子の敬斎が明治二年四月、水原で急死しました。そして、父の文明もまた後を追うように、翌年の一月に亡くなりました。その後医学館は閉校はしたものの、運営が不可能で自然に廃校のやむなきにいたりました。

しかし、明治の初期、まだ世の中が治まらなかった頃に、今でいえば新潟大学医学部のようなものを朝日の丘陵地に設けた本多父子の偉業には、特筆すべきものがあります。

＊絵図を寄贈された本多芳郎さんは、現在八十三歳。裁判所判事のお父さんが新津を去られてから生まれた方で、古都公証人会・日公連会長、弁護士。著書も多く、昭和四十七年に勲二等瑞宝章を授与されています。

医学館は本多家の

「親子で楽しむ標本づくり」にご参加を

中央公民館では、夏休みに採集した植物・昆虫などの標本づくりの講習会を開きます。夏休みの宿題として、標本づくりに親子で参加しませんか。

□とき…八月二十六日(日)の午前九時三十分～正午
□ところ…市民会館
□材料費…三百円
□対象…小学生とその親
□指導…理科センターの岡村先生
□申し込み…中央公民館(☎2―九六六六)へ

荻川地区公民館で楽しい工作あそび

荻川地区公民館では、竹でつくる工作とその遊び方の指導を次のように行います。

□とき…八月二十九日(水)の午後一時～三時三十分
□ところ…荻川地区公民館
□内容…竹とんぼ、ヤジロベー、水鉄砲、コマほか
□材料費…一人二百円
□対象…小学生
□持参するもの…小刀(持っている人)とハサミ
□申し込み…荻川地区公民館(☎4―五七七六)へ

16ミリ発声映写機操作技術講習会

16ミリ発声映写機操作技術講習会を次のように開きます。

□とき…八月二十八日(火)の午前九時三十分～午後四時と二十九日(水)の午前九時～午後三時三十分
□ところ…視聴覚センター
□定員…二十人
□経費…五百円(テキスト代)
□申し込み…八月二十一日までに視聴覚センター(☎2―〇二〇一)へ

施設めぐり

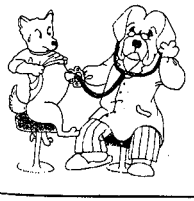
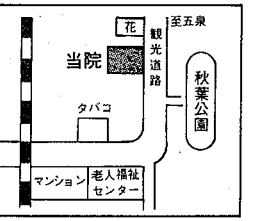
まだ余裕があります
申し込みはお早目に

先号でもご紹介しましたが、左の表の日程で「施設めぐり」が行われます。二十二日(水)、二十三日(木)、二十九日(水)の三日間にまだ余裕があります。参加希望の方は、お早目に市役所企画室(☎4―二一一一内線二三七)へお申し込みください。

見学日程

9：00集合、出発(市役所前)
9：10～9：40
廃棄物処理センター
第一工場
9：50～10：20
新津浄化センター
10：30～11：00
勤労青少年ホーム
11：10～13：10
グリーンセンター(昼食)
13：25～14：00
荻川地区公民館
14：20～14：50
鉄道資料館
15：00解散(市役所前)

お買物、ご用命は市内で



小鳥・犬・猫からカメまで
小島獣医科病院
☎4―2223(秋葉2丁目)
●駐車場完備